

氏名	王 専
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3195号
学位授与の日付	平成10年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	日本と中国における学童の肥満と生活習慣に関する比較研究
論文審査委員	教授 青山 英康 教授 清野 佳紀 教授 辻 孝夫

学位論文内容の要旨

中国瀋陽市（620名）と日本国岡山市（579名）の9歳から11歳までの学童を対象に、肥満と生活習慣に関して質問紙法によるアンケート調査を行った。調査の内容は学童の身長、体重、食事、日常生活について行い、解析に使用できた者は瀋陽市397名、岡山市392名であった。肥満は体格指数、body mass index (BMI: kg/m²) の22以上とした。肥満の頻度は瀋陽市では5.7%（男子8.2%、女子3.7%）、岡山市では5.4%（男子6.7%、女子4.0%）であり、両市とも男子に肥満が高頻度であった。食事と肥満との関連では、炭水化物、脂肪およびエネルギー量の一日摂取量は、両市とも肥満群は非肥満群よりも有意に多かった。また、ロジスティック回帰分析による解析では、瀋陽市、岡山市ともに穀類、芋、砂糖および油脂の2群の食品が肥満に強い関連を示し、三大栄養素の摂取との関連についても、両市とも炭水化物および脂肪が肥満に有意に強い関連を示した。また、両市とも運動が肥満に有意に負の関連を有することが認められ、岡山市ではテレビ視聴が肥満と有意に正の関連を示した。

論文審査結果の要旨

本研究は中国瀋陽市と岡山市の9才から11才までの学童を対象に両群におけるBMI 22以上と未満の2群について、食生活と日常生活様式の相違を比較検討したものであり、中国の学童とわが国の学童との間に、食生活及び日常生活における相違とBMIに与える影響の相違を明かにした。

未だ全く解明されていない中国の実態を明らかにし、今後の経過を追求する基礎資料を得たものとして、国際保健上価値ある業績と認めた。よって本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認めた。